

## 第32回 鹿児島県PTA連合会「小・中・高・特別支援学校PTA広報紙コンクール」審査評

### 1 総合所見

- (1) 校種、学校規模に応じた内容の充実が図られ、PTA活動活性化のための広報紙づくりへの努力が感じられた。
- (2) 小学校では、子どもの姿、会員の声、PTAを取り巻く課題等について独自の視点から取り上げ、分かりやすい紙面構成で発信している広報紙が多く見られた。
- (3) 中学校では、広報紙発行のテーマを持ち、地域への取材活動を日頃から行い紙面作りをしているものが見られた。また、PTA活動の成果や課題について考察したものや、読者の関心の高い内容をとりあげたもの、レイアウトにも工夫されたものがあった。
- (4) 高等学校では、会員の知りたい情報を提供するため、取材や紙面構成を工夫している広報紙が見られた。
- (5) 特別支援学校では、子どもの活動や成長の様子を中心にしながら、PTAの関わりを視点にして構成を考えるなど、各校での工夫がみられた。

### 2 今後の課題（留意してほしいこと）

- (1) 学校行事を取り上げることが多いが、行事の紹介のみで終わるのでなく、PTAとしての視点やかかわりから記事にしてほしい。  
例 ○ 「運動会を支えるPTA活動」として、会員の活躍を記事にする。  
○ 部活動などの写真や結果だけでなく、保護者のかかわりや親子の交流などに視点を当てた内容にする。
- (2) 広報紙発行のテーマを設定したり、年間の編集計画を策定したりしてほしい。  
○ 発行の目的がはっきりすると、目的に合う写真や記事内容へと変化し、読者の求めるものに近づくと思われる。  
このことで、広報紙発行がやりやすく楽くなります。
- (3) 広報紙をいっそう充実させるために  
○ 県PTA連合会のホームページ、優秀広報紙集などの資料を活用する。  
○ 広報紙研修会などで研修する。  
○ 子どもたちの活動や地域と保護者のかかわりによる良さを、もっとアピールしていただきたい。